

様式1

令和4年度危機管理部予算見積総括表

一般会計

| | |
|------------|--------------|
| 令和4年度予算見積額 | 2,757,710 千円 |
| 令和3年度当初予算額 | 1,900,344 千円 |
| 差引増減額 | 857,366 千円 |
| 対前年度比率 | 145.1 % |

(注1)上記には、人件費を含まない。

1 令和 4 年度予算の基本的な考え方

基本方針

県民が安全・安心に暮らせる社会を目指して、豪雨などの自然災害のほか危機事象に備えるとともに、年々切迫度が高まっている南海トラフ地震対策については、発災直後の「命を守る」対策や、応急期における「命をつなぐ」対策の強化に加え、対策の時間軸を長く捉え、復旧期までを視野に入れて取り組む。

危機管理部の予算体系

I 総合的な危機管理・防災対策の推進

- ①危機事象訓練や実践的な防災訓練などを通じた本部及び支部の対処能力の向上
- ②情報伝達・収集手段を確保するための無線や情報システムの充実強化
- ③南海トラフ地震発生時における燃料確保対策など応急対策活動のための取組の推進
- ④豪雨や台風等の風水害時における防災情報の迅速な提供等ソフト対策の推進 など

II 南海トラフ地震対策の着実な実行

- ①補足的津波避難空間の整備や早期避難意識率向上等に向けた啓発の充実などによる「命を守る」対策のさらなる徹底
- ②避難所運営マニュアルの作成や資機材整備、物資配送計画の改定や受援態勢の実効性の確保などによる助かった「命をつなぐ」対策の幅広い展開
- ③事前復興まちづくり計画の策定推進や復興手順書の作成など「生活を立ち上げる」対策の推進

III 消防力・防災力の向上

- ①消防団員の確保及び地域防災活動の支援
- ②消防学校における実火災訓練施設を活用した教育・訓練の実施
- ③消防防災ヘリコプターの安定的かつ継続的な運航体制の確保・充実 など

2 令和4年度一般会計予算見積額

単位：百万円

() 内は一般財源

| 項目 | R4当初 見積額 | R3当初 予算額 | 増減 (R4 - R3) | 主な増減理由 |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------|--|
| 1 総合的な危機管理・防災 対策の推進 | 909 (358) | 321 (278) | 588 (80) | <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災情報システム更新、防災情報提供アプリ改修や高所カメラ配信システム整備等のデジタル化関連事業費の増254 (45) ・防災作戦室改築事業、防災行政無線中継局移転に伴う工事請負費の増164 (2) ・応急対策活動燃料確保事業による負担金の増119 (8) |
| 2 南海トラフ地震対策の着実 な実行 | 977 (389) | 1,125 (482) | ▲ 148 (▲ 93) | <ul style="list-style-type: none"> ・起震車の更新事業終了による事業費の減▲55 (▲14) ・地域防災対策総合補助金等の市町村に対する補助事業費の減▲90 (▲81) |
| 3 消防力・防災力の向上 | 872 (838) | 455 (431) | 417 (407) | <ul style="list-style-type: none"> ・消防防災ヘリコプター2機運航による経費の増287 (287) ・消防学校訓練用資機材の充実に伴う経費の増78 (78) |
| 部 合 計 | 2,758 (1,585) | 1,901 (1,191) | 857 (394) | |

令和 4 年度 危機管理部の施策のポイント

1. 総合的な危機管理・防災対策の推進

※()は一般財源、[]は令和 3 年度当初予算

新 デジタル 防災情報・通信システム管理運営費(高知県総合防災情報システム更新事業)

150,000千円 (-千円)
[-千円 (-千円)]

現在の高知県総合防災情報システムは、平成25年度に構築して以降 8 年が経過し、サーバ機器等が老朽化していることから、システムの更新に併せて国が構築するプラットフォームとの接続やシステムの操作性の向上を図ることにより、迅速な応急活動や避難指示、避難所開設情報の配信につなげるため、システムを開発します。

新 デジタル 防災情報・通信システム管理運営費 (高所カメラ配信システム整備工事)

64,988千円 (988千円)
[-千円 (-千円)]

大規模災害時における迅速な災害対応や消防防災ヘリなどの安全航行を図るため、津波浸水区域外の市街地の被害状況や天候状況を、県災害対策本部や消防防災航空センターにリアルタイムに映像配信できるよう、無線中継局や土木事務所等に高所カメラを増設します。

2. 南海トラフ地震対策の着実な実行

新 次世代 デジタル 地震対策企画調整費(南海トラフ地震対策啓発アニメ作成委託料)

2,000千円 (2,000千円)
[-千円 (-千円)]

今まで防災に関心のなかった県民を含む、幅広い世代に対して自助の取り組みを促すため、今年度実施する「防災まんが選手権」の入賞作品を活用した防災アニメを作成し、インターネット SNS、デジタルサイネージ等を活用し啓発を行います。

新 次世代 デジタル 地震対策企画調整費(問合せ自動応答システム構築業務委託料)

4,500千円 (4,500千円)
[-千円 (-千円)]

県や市町村などの各部署にまたがる防災情報を集約して案内することによる、住民サービスの向上と情報発信力の強化を目的に、LINEアカウント等に自動応答システム (AIチャットボット等) を導入します。

3. 消防力・防災力の向上

新 救急救命推進事業費(高知県救急安心センター事業費)

21,000千円 (15,750千円)

[一千円 (一千円)]

医師や看護師による24時間365日体制の医療相談窓口を設置（救急安心センター事業（#7119）を実施）することにより、救急車の適正利用、救急医療機関の受診の適正化を図るとともに、県民の皆様に安心・安全を提供します。

拡 消防防災ヘリコプター運航管理費(消防防災ヘリコプター運航委託ほか)

311,965千円 (305,965千円)

[182,683千円 (182,683千円)]

消防防災ヘリコプターの安定的かつ継続的な運航体制を確保するため、消防庁から貸与を受けたヘリコプター（レオナルド式AW139（名称「おとめ」））に加え、令和4年10月からは自県機ヘリコプター「りょうま」（「おとめ」同機種）の運航業務を民間航空会社に委託します。

また、365日常時安定した航空消防活動を維持するため、救助用ホイスト装置等の機体装備品や消防活動装備品を購入するとともに、消防防災航空センターにヘリコプター衛星通信システム（ヘリサット）の受信設備を整備します。